

第14回大会 日本応用藻類学会 企画シンポジウム

緑藻ミル・レクチンの利用と展望

日本応用藻類学会のシンポジウムでは、藻類の特性や生育や成分など、資源生物としての有用性とその活用技術に関して、基礎および応用研究を中心とした課題を取り上げてきた。

今回は海藻機能性成分の中、現在話題となっている緑藻ミルのレクチンを中心に、1. 海藻レクチンの生化学的な特徴と利用の展望、2. ミル・レクチンの特性や利用の展望、3. ミルの生長におよぼす環境の影響、4. ミル養殖のための種苗生産方法と養殖技術などを報告していただき、ミルの機能性成分レクチンの利用に関する周辺技術や研究の現状と課題について広く論議を深めたく本シンポジウムを企画した。

プログラム

- 14:00~14:05 S01 「趣旨説明」
(能登谷正浩：東京海洋大学名誉教授・応用藻類学研究所所長)
- 14:05~14:35 S02 「海藻レクチンの特徴－陸上植物レクチンとの比較－」
(垣田浩孝：産業技術総合研究所四国センター)
- 14:35~15:05 S03 「海藻ミルのレクチンの特性と利用の展望」
(今村幸治：株式会社医学生物学研究所)
- 15:05~15:35 S04 「ミルの生長におよぼす周辺環境の影響」
(瀬名波出・依田欣文：琉球大学)
- 15:35~16:05 S05 「Prospects of *Codium fragile* aquaculture for marine lectin production: different modes of seed production and cultivation (マリンレクチン生産のためのミル養殖の展望：異なる種苗生産様式と養殖)」
(Rhea Joy Carton-Kawagoshi, Kazuhisa Ono, Kazuhiko Ooe and Masahiro Notoya : Amaryu Employment Creation Promotion Council)
- 16:05~16:30 総合討論

開催日：2015年5月16日(土)
一般口頭発表：10:15~12:00
ポスター発表：13:15~13:45
企画シンポジウム：14:00~16:30
会場：東京都港区港南4-5-7
東京海洋大学品川キャンパス
楽水会館大会議室

(写真提供：瀬名波出・依田欣文・高知水試)